

Table 1 日本で承認されたバイオ医薬品(バイオ後続品および配合剤を除く)

分類	一般名	商品名	遺伝子組換え	生産細胞	承認年	主な適応疾患
酵素						
t-PA	アルテプラーゼ	アクチバパン®、グルハ®注	○	CHO	1991	虚血性脳血管障害、急性心筋梗塞
t-PA	モンテプラーゼ	クリアクター静注用	○	BHK	1998	急性心筋梗塞
グルコセラブロシダーゼ	イミグロセラーゼ	セレザイム静注用	○	CHO	1998	ゴーシエ病
グルコセラブリターゼ	ペバジルセラーゼ アルファ	ビブリゾーム静注用	○	HT-1080	2014	ゴーシエ病
αガラクトンターゼ	アルシルセラーゼ アルファ	リレガル点滴静注用	○	HT-1080	2006	ファブリー病
αガラクトンターゼ	アルシルセラーゼ ベータ	フブライム点滴静注用	○	CHO	2004	ファブリー病
α-L-イソノニダーゼ	ラニダーゼ	アドライズム点滴静注用	○	CHO	2006	ムコ多糖症 I型
酸性α-グルコンダーゼ	アルグロコンダーゼ アルファ	マイオザム点滴静注用	○	CHO	2007	ムコ多糖症 II型
イズコ-α-酰2カルボフェナーゼ	イデュラルルフェナーゼ	エプロフレース点滴静注液	○	HT-1080	2007	ムコ多糖症 IV型
N-アセチルガラクトサミン-4-硫酸アターゼ	ガルスルフアーゼ	ナグラザイム点滴静注液	○	CHO	2008	ムコ多糖症 IV型
N-アセチルガラクトサミン-6-硫酸アターゼ	エコスルフアーゼ アルファ	ビジムム点滴静注	○	CHO	2014	ムコ多糖症 IV型
尿酸オキダーゼ	ラヌブリーゼ	ラリテック点滴静注用	○	酵母	2009	癌細胞療法に伴う高尿酸血症
DNA分解酵素	ドナーゼ アルファ	ブロマザム吸入液	○	CHO	2012	萎縮性線維症における肺機能の改善
組織非特異型アルカリホスファターゼ+Fc	アルホターゼ アルファ	スルレジック皮下注	○	CHO	2015	低分子フターゼ症
コラーゲナーゼ	コゲナーゼ (クロストリウム ヒストリチム)	ザイブリックス注射用	○	クロストリウム ヒストリチム	2015	デュボイドライン拘離
リソヌーザー陰性リバーゼ	セリバーゼ アルファ	カム点滴静注液	○	Tg-290	2016	ライソヌーザー陰性リバーゼ欠損症
グリココア/グリカン分離酵素	コンバーゼ	ヘルコニア眼瞼板注用	○	Proteus vulgaris	2018	腫瘍椎間板ヘルニア
PEG化ウサデンシングルアーネー類縁体	エラベグアデマーゼ	レブロビ筋注	○	大腸菌	2019	アデノシンデアミナーゼ欠損症
トリペプチドペルチダーゼモノクローン抗体	セルリポナーゼ アルファ	ブリニューラ脳室内注射液	○	CHO	2019	セロイドリボスチニン症2型
血液凝固関連系因子						
血液凝固第VII因子(活性型)	エブタコグ アルファ(活性型)	注射用ノボセブン	○	BHK	2000	第VII因子又は第IX因子に対するヒビターを保有する血友病
血液凝固第VII因子	オトナコグ アルファ	コージネイトF3バオセット注	○	BHK	1993	血液凝固第VII因子欠乏症患者における出血傾向の抑制
血液凝固第VII因子	オトナコグ ベータ	コバーリード静注用	○	BHK	2016	血液凝固第VIII因子欠乏症患者における出血傾向の抑制
血液凝固第VIII因子	ルリオクトコグ アルファ	アベイント注射用	○	CHO	2006	血液凝固第VIII因子欠乏症患者における出血傾向の抑制
血液凝固第VIII因子アナログ	ルリオクトコグ アルファ ベゴル	アディベイト静注用	○	CHO	2016	血液凝固第VIII因子欠乏症患者における出血傾向の抑制
血液凝固第VIII因子アナログ	リクタコグ アルファ	ノベイエト静注用	○	CHO	2014	血液凝固第VIII因子欠乏症患者における出血傾向の抑制
血液凝固第VIII因子	リクタコグ アルファ ベゴル	イスコトコグ 静注用	○	CHO	2019	血液凝固第VIII因子欠乏症患者における出血傾向の抑制
血液凝固第VIII因子-fc融合タンパク質	エラロトロブグ アルファ	イクタコトコグ 静注用	○	HEK	2014	血液凝固第VIII因子欠乏症患者における出血傾向の抑制
PEG化血液凝固第IX因子	ノナコグ ベータ ベゴル	エイフロトコグ 静注用	○	CHO	2017	血液凝固第IX因子欠乏症患者における出血傾向の抑制
血液凝固第IX因子	ノナコグ アルファ	ジニアトコグ 静注用	○	CHO	2018	血液凝固第IX因子欠乏症患者における出血傾向の抑制
血液凝固第IX因子	ノナコグ ガンマ	ベニスビス静注用	○	CHO	2009	血友病B先天性血液凝固第IX因子欠乏症患者における出血傾向の抑制
血液凝固第IX因子-fc融合タンパク質	エトロトナガグ アルファ	リクスビス静注用	○	HEK	2014	血液凝固第IX因子欠乏症患者における出血傾向の抑制
PEG化血液凝固第IX因子	ノナコグ ベータ ベゴル	オルトリコグ 静注用	○	CHO	2016	血液凝固第IX因子欠乏症患者における出血傾向の抑制
トロボモデリソーン	トロンボポデュリン アルファ	レイモジリム点滴静注用	○	CHO	2015	先天性血栓形成性凝溶血症(DIC)
アントリコロビン	アントリコロビン ガンマ	アントロビ静注用	○	CHO	2015	先天性アントリコロビン低値アントリコロビン低下を伴う播種性血管内凝固因子症群
von Willebrand因子	ボニコグ アルファ	ボンベンディ静注用	○	CHO	2020	von Willebrand病患者における出血傾向の抑制
血清タンパク質	人血清アルブミン	メドウェイ注	○	酵母	2007	低アルブミン血症
ホルモン	アルブミン					
インスリン	インスリン ヒト	ヒューマリン注	○	大腸菌	1985	インスリン療法が適応となる糖尿病
インスリル	インスリル ヒト	ノボリント注	○	酵母	1991	インスリル療法が適応となる糖尿病
超速効型インスリナアナログ	インスリル リスプロ	ヒーマーピング注	○	大腸菌	2001	インスリル療法が適応となる糖尿病
超速効型インスリナアナログ	インスリル アスパルギト	ノボリピッド注、ファイアス注	○	酵母	2001	インスリル療法が適応となる糖尿病
持効型インスリナアナログ	インスリル グラリギン	ラタス注	○	大腸菌	2003	インスリル療法が適応となる糖尿病
持効型インスリナアナログ	インスリル デミミル	レミル注	○	酵母	2007	インスリル療法が適応となる糖尿病
超速効型インスリナアナログ	インスリル グルリジン	アンドラ注	○	大腸菌	2008	インスリル療法が適応となる糖尿病
超速効型インスリナアナログ	インスリル デグルテク	トシニアーバ注	○	酵母	2012	インスリル療法が適応となる糖尿病
成長ホルモン	ソマトロビン	ジンバロビン注	○	大腸菌	1988	成長ホルモン分泌不全性侏儒症
成長ホルモン	ソマトロビン	ノーディロビン注	○	大腸菌	1989	成長ホルモン分泌不全性侏儒症
成長ホルモン	ソマトロビン	ヒーマーローブ注用	○	大腸菌	1992	成長ホルモン分泌不全性侏儒症
PEG化成長ホルモンアナログ	ペビソントマート	サイゼン注	○	大腸菌	1993	成長ホルモン分泌不全性侏儒症
スマジメント	メカセルミン	グローバル注	○	大腸菌	2007	先端巨大症
ナトリウム利尿ペプチド	カルベリペチド	ノーディロビン	○	酵母	1994	インスリル受容体異常症、成長ホルモン欠損症
グルカゴン	グルカゴン	ノーディロビン	○	大腸菌	1995	急性心不全
卵胞刺激ホルモン	ホリコロビン アルファ	ゴナーリンエイ皮下注用	○	CHO	2006	精子形成の誘導、排卵誘発
卵胞刺激ホルモン	ホリコロビン ベゴル	フリリコム注	○	CHO	2005	排卵誘発
純毛性腺刺激ホルモン	コロコロドビトロビン アルファ	オドレレノレバ皮下注	○	CHO	2016	排卵誘発及び黄体化
GLP-1アログ	リラグリド	オドレレノレバ皮下注	○	酵母	2010	2型糖尿病
GLP-1アログ-fc融合タンパク質	デララグリド	トリリシティ皮下注0.75mgアテオス	○	CHO	2015	2型糖尿病
GLP-1アログ	セマグリド	オゼビック皮下注	○	酵母	2018	2型糖尿病
副甲状腺ホルモン[1-34]	ティバラド	フルテラ皮下注	○	大腸菌	2010	骨粗鬆症
レブチン	メトレレブチン	メトレレブチン皮下注用	○	大腸菌	2013	脂肪細胞症
ワクチン						
B型肝炎ワクチン	組換え沈降B型肝炎ワクチン(酵母由来)	ヘブタバックスII	○	酵母	1988	B型肝炎の予防
B型肝炎ワクチン	組換え沈降型肝炎ワクチン(酵母由来)	ビームゲン	○	酵母	1988	B型肝炎の予防
A型肝炎ワクチン	乾燥細胞培養不活化A型肝炎ワクチン	エムゲン	○	GL37	1994	A型肝炎の予防
HPV感染予防ワクチン	組換え沈降型トロボローウイルス株粒ワクチン	サーバーハイクス	○	HIV-5(昆虫細胞)	2009	子宮頸癌の予防
HPV感染予防ワクチン	組換え沈降型ヒバローウイルス株粒ワクチン(酵母由来)	ガーダシル水性膀胱灌注用	○	酵母	2011	HPV6, 11, 16, 18型の感染に起因する子宮頸癌の予防
帯状疱疹予防ワクチン	乾燥細胞不活化状ワクチン(VZVワクチン)	シングリック静注用	○	CHO	2018	帯状疱疹の予防
インターフェロン類						
インターフェロンα	インターフェロン アルファ (NAMALWA)	スミフェロン	○	NAMALWA	1987	腎癌、多発性骨髓腫、型肝炎、C型肝炎
インターフェロンα	インターフェロン アルファー-2b	イントロナ注用	○	大腸菌	1987	C型慢性肝炎におけるウイルス血症の改善
インターフェロンβ	インターフェロン ベータ	フロロ	○	ヒト正常2倍体線維芽細胞	1985	B型肝炎、C型肝炎
インターフェロンβ	インターフェロン ベータ-1a	アボニックス静注用	○	CHO	2006	多発性硬化症の再発予防
インターフェロンβ	インターフェロン ベータ-1b	ベラフェロン静注用	○	大腸菌	2000	多発性硬化症の再発予防及び進行抑制
インターフェロンγ	インターフェロン ガンマー-1a	イムラクス静注用	○	大腸菌	1989	腎癌、慢性的肉芽腫症に伴う重症感染
PEG化インターフェロンα	ペビオントマート アルファ-2a	ベガシス静注用	○	大腸菌	2003	C型肝炎
PEG化インターフェロンα	ペビオントマート アルファ-2b	ベガイントン皮下注用	○	大腸菌	2004	C型肝炎
エリスロポエチン類						
エリスロポエチン	エポエチナルアルファ	エスポート注射液	○	CHO	1990	透析施行中の腎性貧血、未熟児貧血
エリスロポエチン	エポエチナ ベータ	エポジン注	○	CHO	1990	腎性貧血、自己血貯、未熟児貧血
エリスロポエシニアナログ	ダルエボチナ アルファ	ネスチ静注用	○	CHO	2007	透析施行中の腎性貧血
PEG化エリスロポエチン	エポエチナル ベータ ベゴル	ミルセラ注	○	CHO	2011	腎性貧血
サイトカイン類						
G-CSF	フィルグラスチム	グラム注射液	○	大腸菌	1991	造血幹細胞の末梢血への勧奨、好中球増減症
G-CSF類縁体	ベガフリルガラスチム	ジーラスクタ皮下注	○	大腸菌	2014	がん化学療法による発熱性好中球減少症の発症抑制
G-CSF	レグララチム	ノートジン注	○	CHO	1991	造血幹細胞の末梢血への勧奨、好中球増減症
G-CSF類縁体	ナルトグラスチム	ノアフリックス注	○	大腸菌	1994	好中球増加促進、好中球減少症
インターロイキン-2	セルモロキシン	セリオクス注射用	○	大腸菌	1992	血管肉腫
mインターロイキン-2	テセロイシン	イムラース静注用	○	大腸菌	1992	血管肉腫
bFGF	トラフェルミン	シーリグリクス静注用	○	大腸菌	2001	褥瘡、皮膚潰瘍(熱傷潰瘍)、歯周炎による歯槽骨の欠損
抗抗体						
ヒト化HER2抗体	トラスツマブ	ハーセピソン注射用	○	CHO	2001	HER2過剰表現が確認された転移性乳癌
キメラ型抗CD2						